

みなと社会見学ツアー

「常滑市鬼崎北小学校4.5.6年生が、
「海上工事で働く人たちや海の環境」について学ぶ

1. 日時及び参加者について

- 令和6年6月7日(金)8:30～11:40 鬼崎北小学校5年生47名
 □令和6年6月14日(金)8:30～11:40 鬼崎北小学校6年生41名
 □令和6年7月4日(木)8:30～11:40 鬼崎北小学校4年生34名

2. 行程について(3日間共)

時間	行程	手段
8:30	鬼崎北小学校 お迎え、出発	バス
9:00	津エアポートライン桟橋 出港	船
	「中部国際空港沖」工事区域(10分)	船
	「中部国際空港」誘導灯下部エリア(10分)	船
9:45	津エアポートライン桟橋 着桟	バス
10:00	オリエンテーション、環境ミニ講座及び環境工作	
11:10	東横イン 出発	バス
11:40	鬼崎北小学校 到着	

3. 見学コースについて(3日間共)



4. 報告内容について

名古屋港新土砂処分場建設安全連絡協議会が常滑市に設立されたことをきっかけに、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会と共に、常滑市教育委員課と連携した「みなと社会見学ツアー」が実施されました。モデル校として選ばれた「鬼崎北小学校」が4.5.6年生を対象に、「海上工事で働く人たちや海の環境」について学ぶ機会として、「みなと見学」では、津エアポートライン「カトレア」に乗り、空港沖の土砂処分場建設現場を船上から見学しました。多くの作業船が活躍している姿や、海面から見える部分が構造物の一部との説明を聞き護岸のスケールの大きさに驚いていました。また、現場までの船上からセントレアに離着陸する飛行機を間近に見て歓声が上がるなど、船に乗るのが初めてという児童もあり、船の上からは、子どもたちが住んでいる自然豊かな地元の海に触れ、また海側から子どもたちの住んでいるまちを眺めるなど有意義な体験となりました。下船後は、「環境ミニ講座」として、海の大切さ、近年問題となっている海ごみについての環境被害、海生生物への重大な被害についても触れ、また、鬼崎海岸で拾った「プラスチックごみ」とをマッチングさせた、「ごみ」が「アート」に変わる!「世界でたったひとつの自分だけの万華鏡づくり」を体験しました。お友だち同士で工程を協力し合い、完成した万華鏡は、どれも素敵な世界が広がり、子供たちの思い思いの色の具材を楽しみ、見せ合いながらとても楽しそうな時間を過ごしていました。最後には、『愛知産ヒノキ間伐材で作られた「定規」』と『海を守るために作られた「レジ袋」』を持ち帰り、「海を守る」ための「森づくり」という循環環境の大切さ、身近な海で進められている大きな工事現場を学び、学校で振り返り、また家族に今回の出来事を話し振り返ってくれることと思います。

5. 状況写真

「みなと見学編」



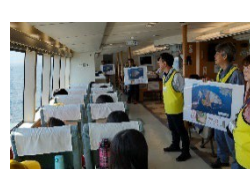
●元気に到着した皆さんは、船に乗ることを楽しみに



●船内の様子



●船内から見える「海の工事現場」と現場工事の説明に耳を傾ける様子



「環境学習編」



●環境講座



●万華鏡づくりを楽しむ様子



●個性豊かな具材



●お持ち帰りの「間伐材の定規」と「レジ袋」

